

# 未来へ懸けたメッセージ

未来に懸ける想いをあなたへ



宮城県職員募集2022 動画



## 行政

きめ細やかなサポートで  
賑わいある農山漁村の実現へ

農政部 農山漁村なりわい課 6次産業化支援班  
ふじき みなみ  
藤木 美波 / 平成25年度採用

行政職の業務は多岐に渡り、様々な業務を経験することができるので、柔軟な発想力や的確な判断力が身に付いてきます。現在、私は農林水産物の生産から加工・販売までを自ら行う6次産業化に向けた事業者支援などを行っています。事業者の皆さんの経営改善や計画目標達成につながる支援ができる仕事にとってもやりがいを感じます。宮城の将来のため一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

## 総合土木

将来に向けて県土を整備し  
地域社会の安全安心に貢献

仙台地方ダム総合事務所 建設班  
なかた あきら  
中田 明良 / 平成27年度採用

川内沢ダム建設事業を担当しており、工事監督や進捗確認などを行っています。限られた工期で工事を完成させる大変さがありますが、ダムなどの構造物が完成した時の達成感はひとしおです。また、県民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに貢献できるので、やりがいがあります。総合土木職は、安全安心な社会を未来に残すことができる、非常に意義がある仕事です。

## キャリアパスインタビュー

## 未来への羅針盤



前向きなチャレンジ姿勢で  
みやぎの未来づくりに貢献したい

復興・危機管理部 復興・危機管理総務課  
総括課長補佐  
たなかふとし  
田中 太 / 平成11年度採用

入庁後、産業経済部経営金融課(現:中小企業支援室)に配属  
石巻土木事務所、産業立地推進課などへの配属のほか、経済  
産業省、民間企業への派遣研修を経験  
その後、富県宮城推進室、障害福祉課、震災復興推進課(現:  
総合政策課)を経験  
令和元年度~ 土木部 港湾課 課長補佐(班長)  
令和2年度~ 仙台土木事務所 次長(総括担当)  
令和3年度~ 現職

新任のころを振り返ってみてどのような職員でしたか?

初任地では、企業会計などの専門知識が必要であったほか、中小企業や商店街の方々との折衝を求められる機会があり、まさに右往左往の毎日でしたが、職場の先輩方の丁寧なサポートのおかげで、徐々に仕事への関わり方を理解できるようになりました。改めて感謝の思いとチームでより良い仕事をする事の大切さを感じています。

入庁してから身についたスキルや、ご自身の内面の変化はありますか?  
国や民間企業への派遣研修はもちろんのこと、これまで経験した業務を通じて、様々な価値観を持った方々や、県庁とは違った組織文化と出会う機会に恵まれました。そうした関わりの中で、前例にとらわれず、多様な視点に立ち、自分の意見を持つ大切さを学ぶことができました。その経験は私の財産として、今の業務にも生かされています。

宮城県職員を目指している方にメッセージをお願いします!

県職員の仕事は本当に幅広く、新たな発見とチャレンジの連続です。また、他の組織と比べても、担当者の裁量が大きく、県の政策立案に携わり、県民の皆さんへの貢献を実感できる職場だと感じています。もちろん、責任も重く、長年勤めている私でも、異動などのたびに期待と不安で胸がいっぱい(笑)ですが、そんな「鮮度の高い」職場で皆さんと一緒に働ける「未来」を楽しみにしています!